

長崎国際大学大学院

人間社会学研究科 社会福祉学専攻

2026 年度 後期日程入学試験

論 述 試 験

注意：問題は、必須問題と選択問題に分かれています。必須問題は、受験者全員が必ず解答しなさい。
選択問題は、5問中1問を選んで解答しなさい。なお、解答はいずれも別紙の解答用紙に記述しなさい。

問題 1（必須問題）

現代日本社会は、少子高齢化の進行、家族形態の多様化、地域社会のつながりの希薄化などにより、人々が抱える生活課題が複雑化・多様化している。このような状況のもとで、社会福祉は人々の生活を支える重要な役割を果たしてきた。

そこで、以下 1～3 を踏まえ 800 字から 1000 字で論じなさい。

1. 社会福祉の目的について、基本的な考え方を踏まえ説明しなさい。
2. 社会福祉の対象について、「普遍主義」と「選別主義」の考え方に触れながら説明しなさい。
3. 上記 1・2 を踏まえ、現代社会において社会福祉が果たすべき役割について、あなたの考えを簡潔に述べなさい。

問題2（選択問題）

次の5つの問いから1つを選択し、400字から500字で論じなさい。解答にあたっては、選択した問いの番号を解答用紙の所定欄に必ず記入すること。

1. 下記の「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」では、「地域・民族固有の地」について触れられているが、これは具体的に何を意味しているのか、またどうして定義に加えられたのかを説明しなさい。

【ソーシャルワーク専門職のグローバル定義】

ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である。

社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。

ソーシャルワークの理論、社会科学、人文学、および地域・民族固有の知を基盤として、ソーシャルワークは、生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける。

この定義は、各国および世界の各地域で展開してもよい。

2. 日本の雇用保険制度について、保険者、被保険者、財源、給付の4つの側面からこの制度を説明しなさい。
3. アイビー（Iver,A.E）が1960年代に体系化した「マイクロカウンセリング」の理論について述べた上で、ソーシャルワーカーの専門職として、利用者を支援する際に、「マイクロカウンセリング」の理論を活用した支援について自身の考え方を述べなさい。
4. 児童虐待に関する状況について説明した上で、その防止策を実践・政策両面から提案しなさい。
5. 福祉サービスにおけるラショニング（配当、割当）について、具体例を用いながら説明しなさい。

